



学校だより

平成令和元年度 2月号

～ひとがすき まちがすき いわさきの子～
横浜市立岩崎小学校 電話 331-5123 FAX 331-5343

いわっこの進級準備

校長 吉田りえ

暦の上ではまもなく立春を迎えますが寒い日が続きます。昔から「1月は往く、2月は逃げる、3月は去る」といわれるように、この3か月はあっという間に過ぎていきます。

今年度もいろいろな行事がありました。PTAや地域の方々に支えられながら、一年間が過ぎようとしています。子どもたちは学年のまとめの時期です。これまでのことを振り返りながら、自分にできることを精一杯、頑張りたいと思います。

もうすぐ進級を目指して活動をしている子ども達の姿を見ていて、河合酔茗さんの「ゆずり葉」という詩を思い出しました。ユズリハという植物は、新しい葉が芽生えると、古い葉が落ちていくことから、後世に譲るという意味のこの名前がついています。次の葉が芽生えたら新しい葉に譲っていくように、6年生から5年生に学校のリーダーを譲ろうとしている姿はまさに「ゆずり葉」のようです。6年生は全校の先頭に立って活躍をしてくれました。そして5年生は6年生の手本となる姿を見習いながら、最高学年への進級を目指し、たてわりリーダーや委員会、クラブ活動などを、引き継いでいきます。そして1年生から4年生も「一つ上の学年」の活動を道標に進級するための準備をしながら、「一つ下の学年」へ引継ぎをしていきます。それぞれの場で頑張る姿に憧れの気持ちをもったり、自分も頑張ろうと勇気をもったり、その頑張りが次につながり、広がっていきます。この素晴らしいつながりが岩崎小にますます増えていくことを願っています。

今年度も残りわずか二か月となりました。保護者・地域の皆様と連携して子どもたちの健やかな成長を目指します。引き続きご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

ゆずり葉 河井酔茗

子どもたちよ
これは譲り葉の木です
この譲り葉は
新しい葉が出来ると
入り代わってふるい葉が落ちてしまうのです
こんなに厚い葉
こんなに大きい葉でも
新しい葉が出来ると無造作に落ちる
新しい葉にいのちを譲って――

子どもたちよ
お前たちは何を欲しがらないでも
すべてのものがお前達に譲られるのです
太陽のまわるかぎり
譲られるものは絶えません

輝ける大都会も
そっくりお前たちが譲り受けるのです
読みきれないほどの書物も
みんなお前たちの手に受取るのです
幸福なる子どもたちよ
お前たちの手はまだ小さいけれど――

世のお父さん、お母さんたちは
何一つ持ってゆかない
みんなお前たちに譲ってゆくために
いのちあるもの、よいもの、美しいものを
一生懸命に造っています

今、お前たちは気が附かないけれど
ひとりでいのちは延びる
鳥のようにうたい、花のように笑っている間に
気が附いてきます

そしたら子どもたちよ
もう一度、譲り葉の木の下に立って
譲り葉を見るときが来るでしょう

